

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して。。。)

記入年月日	平成 20年 11 月26日
事業所名	グループホーム森津
事業所番号	2375601446
記入者名	職名 介護職 氏名 福本 千恵美
連絡先電話番号	0567-65-8050

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当ホームの特色を理念の中に汲みこみ理念を作りあげている。しかし、オープンから5年経過したため、理念を改めて作る必要あり。	○	開設から5年目を迎え、理念の見直しをスタッフと行う必要有
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の支援の中で理念の共有・実践に努めており、理念の確認をスタッフ間で行うように努めている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族には、入居前にホームの理念を説明、理解を頂いている。また、玄関に理念を掲げる事で、来訪者には常に見て頂けるようになっている。地域の人にも周知の徹底必要	○	地域の人々への理念の浸透のための働きかけの必要あり。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	常に、オープンであり、見学は随時可能。入居者様と同年代の方との交流を大切にしている。散歩時には、常に挨拶を大切にしている。また、近隣の方よりオムツや新しい下着、野菜などを寄付して頂くこともあり。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の祭り・小学校の運動会への参加、高校生の慰問の受け入れなども行っている。また、ホーム内の畑を小学生に解放し、芋掘りなどを楽しんでいただいている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者に対して実施していることはほとんどない。実施する必要あり。	○	地域の高齢者に対しての取り組みを考えていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の見直しや、改善に取り組んでいけるよう努力している。内部評価を行うことで、個々がケアの見直しを行っている。	○	前回の見直し改善策を検討するも、実現できていない場合もあり。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	会議の滞りあり、改善していく必要有。	○	運営推進会議の定期的な実施が必要
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の調整会議に出席することで市内部の福祉関係者との調整・情報交換を行っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に、ホームの支援で権利擁護から後見人に移行入居者あり。	○	新しいスタッフには、理解していない人もいるため勉強してもらう必要有
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開く必要有。各スタッフが声掛けをし、虐待が見過ごされることのないように努めている	○	高齢者虐待防止法の勉強会・研修機会を増やす必要あり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明を行い、家に戻られた後でも随時電話での質問を受け付けている。契約前には、施設見学を実施。体験入所も行い、全スタッフが家族の不安を受け止めるよう努力している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各々の、利用者の不安や苦情をスタッフがじっくり時間を設け、スタッフが聞き、要望に沿えるように努めている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時は、もちろんのこと、月1回は報告を行っている。(健康状態もふくめた日頃の様子)	ホーム便りを作成している
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会時、また玄関にはいつでも匿名で記入していただけるようアンケートを置いてある。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議を毎月開催し、意見を出していただいている。また、スタッフがいつでも事務所に直接相談できる雰囲気作りを行っている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族の要望に応じて可能な限り勤務の調整を行い、要望に対応出来るようようにしている。病院受診やレク等スタッフの確保には柔軟に対応している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長年働いているスタッフの異動は極力行っていない。新しいスタッフについてはユニットの個性や利用者との相性等を考慮した上でユニットを決定している。	○	スタッフの補充のため努力は行っているも、すぐには対応できないのが現状。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	主治医の老年課医師の認知症に関する講演会にはスタッフが交代で参加、勉強している。	○	人員に余裕がなく、なかなか行けていないのが現状である。人員に余裕を持たせ、積極的に外部の研修や勉強会に参加させていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の調整会議への参加、近隣施設との交流を持ち、情報交換を行っている（入所者の紹介などもあり）		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	慰安旅行（勤務年数に応じ）や忘年会の開催を行っている。また、事務所はいつでも気軽にスタッフが話しに来れる環境を作っている。認知症主治医が月1でスタッフの介護に関する相談にのってくれる。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の努力や能力を評価した上で、認知症実践者研修などに参加してもらい、個々のスキルアップに努めている。各スタッフの努力や資質などを踏まえ、年1回昇給を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前、事前に本人・家族の面談を実施し、本人様のニーズ把握を行っている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設入所となるまでの経緯をお聞きし、ご家族ご本人の不安・ニーズを受け止めれるようにしている。相談・面会は御家族の都合に合わせ、時間を十分に設けている。また、突然の見学訪問にも対応している。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族のニーズのニーズを理解し在宅サービスの利用も含め総合的な提案を行っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設見学や体験入所を行う事により環境が変化する事によるストレスが軽減されるように努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者との共同生活の中で、常にスタッフは学ぶ姿勢を大切に、接している。特に、園芸・野菜に関しては入居者主体になって行っていただいている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族より、利用者の意見や要望を聞き、利用者のケアに生かすように心がけている。また、面会時には声を掛け、ご本人の状況も含めてお話しするようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時など何気ない会話の中でご本人の生活歴についてお話しいただいている。また、話しやすい環境・関係づくりに努めている。ご家族の心情を理解し可能な限り希望に沿った支援を行えるようにしている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々、利用者様との会話の中でご本人が好きな人や会いたい人の名前○○の場所・地名の言葉でおっしゃられるときは一緒に回想できるようにその時その場所に戻れるような言葉がけをする	○	入所前、利用していた美容院に通えるようにまた、近所のスーパーに行けるように取組んでいきたい。利用者の要望が叶えられるように支援していく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人ひとりの性格や愛称を考え人間関係が築けるよう支援を行っている。出来る限り、孤立されないよう座席等に気を配っている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も直接またはケースワーカーにて手紙や電話にて連絡をとり、近況（特に在宅の方）を伺い現状把握に努めている。また、施設・病院に移った方についても面会に伺う事もあり。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能な限りご本人の希望に沿ったサービスを提供している。また、ご家族からの助言や生活歴を参考にした支援を行っている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご本人の情報・生活歴をお聞きし、また入所後も継続して会話の中より読み取り、個々が必要としているサービスを提供できるように努めている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の様子を記録していく事でご利用者の状態を把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月、1回担当者会議を開催し、ケアプランの見直しをスタッフ皆で行っている。また、ケアプラン作成時にはスタッフ皆、本人、家族の意見を踏まえて作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回担当者会議において、見直しを行っている。急変時においては、特に入院者は退院後の状況把握を行ってからスタッフでケアプランを話しあうようにしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子を記録し、利用者の情報を共有できるようにしている。また、日中・夜間・特変で色分けしわかりやすい記録作りを目指している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者御家族の要望を把握し通院介助を行っている。また、車イスの貸し出しや、車イス車両も場合によっては貸し出している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	教育機関として、小学校・高校生との交流を行っている。また、定期的にフラダンスやギターのボランティアも来所していただいている。秋には市の文化祭りに利用者の作品展示を行っている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問介護サービス・訪問入浴（実費）の利用など、本人・家族のニーズに合わせた支援をしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所時・退所時などの綿密な連絡を取っている。また、必要に応じて共同体性を取れるよう繋がりを持っている。権利擁護はホームで場合により、支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの歯医者等がある場合は継続して受診出来るよう支援している。家族・本人の要望に応じて柔軟に対応している。ま		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	老年課の主治医が月1回ホームに問診、また週1回近くのHPでの受診、電話やメールで対応していただける。月1回の問診時には家族も来られ一緒に説明を受けられる機会でもある。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	非常勤の看護師と24時間連絡が取れるようになっている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、介護サマリーの作成はもちろんのことスタッフが定期的に面会に訪れている。また、病院関係者に入院中の状態について聞き、常に把握するよう努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に指針の説明、同意を頂いている。重度化する可能性や終末期介護の必要性が指摘された場合においては、かかりつけ医・家族・看護師・スタッフと情報を共有し、話し合い、方針を決定している。	○	スタッフ全員が終末期に関する指針の内容を理解する必要あり
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医・スタッフ・管理者・看護師と話し合いにより、当施設で出来る事を見極め、家族との十分な相談の上、本人にとってよりよい方向性を模索するように努めている。スタッフが皆、利用者個々の状態を理解し、ケアの方向性を共有する事に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族・ご本人の了解を得て、生活状況などの情報を交換している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の尊厳を第一にプライバシーに配慮している。記録も同様。守秘義務を守り気をつけている	○	研修や勉強会などで、利用者の気持ちを理解していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一方的なことばがけではなく、本人が意思疎通できるような言葉がけをする。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく、個々のペースにて過ごしていただいているが、スタッフの都合（人員不足など）により業務優先になり、希望にそえない場合もあり。	○	1人1人のペースにあわせた支援を取り組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームに理容師が来所。毛染めなどはスタッフがやっている	○	ご希望にあわせて、行きつけの美容院に行けるように援助していく必要あり。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付けることが出来る人には配膳の片付けをしていただいている。現状、スタッフが行っている事が多い。	○	小さなことでも、出来る限り手伝って頂くよう支援を行っていく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者が希望する飲み物、間食を提供出来るように努力している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの把握に努めており、出来る限りトイレ誘導による排泄を実践している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日・時間を職員の都合に合わせてしまっている。そのため、ご希望にあわせた入浴を行えていない。	○	職員配置の見直し、充実により、希望に合わせた入浴をおこなっていききたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者の健康状態、その時々状況や個々の生活リズムに合わせた支援を行っている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が好きな事を把握し生活の中で生かしているよう努めている		スタッフが業務優先になりがち。個々の能力に合わせた楽しみある支援を増やしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通常、お金は事務所にて管理を行っている。しかし、買い物時にはレジでのお金の受け渡しは入居者が行っている	○	お金を使い、買い物をする機会を設けていく必要あり
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	喫茶店や外食に行く機会を設けている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に合った場所へ外出出来るように取り組んでいる	○	個別レクを企画していきたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状・暑中見舞いを毎年書いていただいている。また、ご本人の要望があれば電話して頂いている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	リビングや居室でくつろいで会話できるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ご家族に、十分に説明、きちんと拘束内容を示した文書にて同意して頂いてる。	○	正しく理解していないスタッフもあり、勉強会の必要有

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、夜間を除きオープンしている。	○	居室窓については、日中も一部鍵を掛けている居室あり。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に入るときは、ロック・声掛けをし、本人の所在確認をし、散歩・ベランダ歩行時も見守りや同行、声掛けにて対応。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品に関しては、なるべく目の届かないところに置くのが通常だが、必要に応じて職員が配慮している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはつとを気付きのときには必ず、記入し事故を未然に防ぐようにしている。個々の状態を全員が日々記録や申し送りから把握し、事故防止に繋がるよう努めている	○	ひやりはつとの検討会の開催（ユニット会議にて）をおこない、また他ユニットからの事例も検討する事で視野を広げて事故防止に繋げて行く。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変・緊急時のマニュアルがあり、職員熟読し理解した上ですみやかに対応出来るよう心がけている。救命訓練を受けている。	○	新しいスタッフにも救命訓練をうける必要有
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的に行い、職員の緊急連絡網の再確認を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	状況・状態に応じて説明し対応している。また、 ケアプランにあげている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努 め、気付いた際には速やかに情報を共有し、 対応に結び付けている	顔色・熱感等をコミュニケーションの中で読み取 り、日々バイタルチェック等を行い、異常があれ ばすぐに看護師に連絡。指示を仰いでいる。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努めて いる	新しく処方・変更になった服薬はカルテにて内容 確認、理解し、お互いスタッフ同士も確認してい る		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体 を動かす働きかけ等に取り組んでいる	チェックリスト作成し、排便状況をひと目で確認 出来るようにしている。コントロール自立の人は トイレの際確認を行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援 をしている	毎食後、必ず行っている。入歯の方は夜間ポリデ ントにつけ衛生保持。拒否する方もいるが、個々 のペースで会話したり時間をおき、施行している		コップ・歯ブラシ・タオルなどの備品の衛生面にも 気を配っていきたい。入歯の不具合、口腔内の 異常に気付いたら歯医者への相談・治療に繋げて 行く
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や 力、習慣に応じた支援をしている	チェック表にて対応。スタッフが確認しながらお 茶・ジュース等その都度水分管理を行っている。		寒い時期でも暖房の使用で脱水症状になる事もある ため、こまめに必要に応じ水分摂取して頂くよう にする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルが常備されている。又、インフルエンザにおいては、職員も受けて予防に徹底している。外出後、食事前にはきちんと手洗い、消毒を実施。	○	マニュアルの徹底の必要あり
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	肉は、一度ゆでてから使用し、食材は冷蔵冷凍ときちんと管理されて届く。調理前、調理後の衛生点検を実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節おりおりの花や草木で自然を感じ取れる雰囲気作りになっている。駐車場も広くあり、いつでも来訪できるようになっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁紙の作品等季節に合わせて変えたり、写真等楽しめるように工夫している。照明も必要以上に暗くならないように配慮している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーにてくつろがれたり、食卓の自分の席であったり、その時の気分に合わせ利用者が自由に選択されている	○	個々の居場所をめぐり、認知症状によりトラブルになる事があり。共用空間では、孤独にならない様対応していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年の趣味の作品、家族との思い出の写真、以前使用していた生活用品等での居室作りに努めている		殺風景な居室もあるため、ご家族やご本人と其人らしい居室作りに努めていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、窓を開け、換気を行っている。気候のいい時は、日中も窓を開けるように心がけている。個々の体温調節も気候・身体状況を見極め、適切に行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内バリアフリーはもちろんの事、身体状況に応じてベットを介護用に交換したりと、身体レベルに応じて柔軟に対応している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る力を見極め、声掛けしながら必要以上に強制せず、本人に気持ちよくやって頂けるよう支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	芝生でのバーベキューや散歩、果樹や畑での収穫、ウッドデッキでのお茶や歌レク等季節を肌で感じながら個々の気分転換を図っていただいている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームは特に、自然・地域の中での生活を大切にしている。畑や田んぼを持ち、ホーム入居者はもちろんの事、小学生や知的障害者へ開放を行い、季節の野菜の収穫を楽しんで頂けるようにしている。また、子どもや高校生、地域の人々に定期的に来ていただくことで利用者が楽しみを持って生活出来る様、色々考えながらレクを行っている。老年課の医師が主治医であり、メール等によりいつでも連絡を取れるようになっており、また定期的な受診以外で月に1度はホームに来られ問診を行って下さる。ご家族も医師来所時にはホームに面会に来られ医師へ直接相談が出来るようになってきている。また、家族だけではなくスタッフの介護に関する相談も受けてくれる。年に1回のバーベキュー大会では芝生を利用し、家族・医師・入居者・スタッフが参加し、交流の場となっている。